

協 議

新市建設計画(案)について

新市建設計画(案)について、別紙のとおり協議を求める。

平成15年12月6日提出

久留米広域合併協議会会長 江 藤 守 國

新市建設計画（案）について

本論

第3章 新市の施策方針

第2節 道路や上下水道等の魅力あふれる都市基盤・生活基盤を実現する施策

(3) 新市建設主要施策・事業

主要施策	主要事業
防災体制の整備・充実	市民の安全を守るために、新市域を統合した防災情報ネットワークを構築するとともに、新市としての救急・消防防災の拠点整備に取り組みます。
総合的な生活排水処理の推進	生活環境の改善と水質保全を図るために、新市全体の効果的・効率的な生活排水処理を目的に、地域特性に応じた生活排水処理事業(公共下水道、合併処理浄化槽、農業集落排水など)を、国県との連携を図りながら、計画的に整備します。
総合的な上水道の整備	新市域内に良質な水を効率的に安定して供給するために、配水管網の見直しによる再整備や未給水地域への配水管敷設など一体的な水道事業の確立に向け、計画的な施設整備を行います。
衛生的な生活環境の整備	し尿収集業務の円滑化を進めるとともに、それらのし尿の適正かつ効率的な処理を図るため、施設の整備・充実を進めます。更には、将来を展望しながら斎場の周辺環境整備を含めた整備に取り組みます。
快適な居住空間の整備	質の高い居住空間の整備と地域社会の定住性の向上を目的に、公営住宅の計画的な整備や住宅市街地の住環境の整備などを、市民ニーズに基づき年次的に進めます。
域内幹線道路等の整備	新市域内の円滑な交通環境を整備するために、地元の協力の下に、計画的な域内幹線道路の整備等を進めます。
美しい都市空間の整備	美しい都市空間を構成する緑あふれる公園や水と親しむ公園等、地域特性を活かした身近な公園を、計画的に整備します。

第4章 新市における福岡県事業の推進

第1節 福岡県における新市の位置付け

新市を含む筑後地域は、「ふくおか新世紀計画」の県土整備構想として『筑後田園都市圏構想および福岡・筑後活力コリドー（回廊）構想』が打ち出され、戦略的な整備を進めることを明らかにされているエリアに位置しています。

（1）筑後田園都市圏構想および福岡・筑後活力コリドー構想

筑後田園都市圏構想は、豊かな自然と文化・歴史に育まれ、多様な産業が集積し個性ある都市群と魅力ある地域が展開するという筑後地域の特性を活かし、集中的な都市機能の集積によらず、面的な広がりを持った都市機能のネットワーク化を図ることにより、自然に恵まれた田園都市空間の形成を旨とする21世紀型の新たな都市づくりを進めるものです。

また、福岡・筑後活力コリドー構想は、福岡都市圏との交通軸や情報基盤の強化により福岡都市圏の活力を筑後地域に呼び込み、新たな活力の創出を図るものです。

これらの構想実現を図るための主要な施策として、九州新幹線の整備促進、道路交通網の整備促進等の広域交通網整備を図るとともに、競争力のある産地の育成、観光の振興や福岡バイオバレー構想（バイオ産業拠点化）の推進など、多様な産業機能の集積に取り組むこととしています。

また、福岡県では筑後田園都市圏構想の具現化を図るために、平成14年度に筑後田園都市論検討委員会を設置し、今後の筑後地域のあり方を検討したところであり、現在、県においてその具現化に向けて様々な取組みを進めています。

第2節 新市における福岡県事業

新市の建設に当たって、県が主体となって実施する事業は次のとおりです。

(1) 主要幹線道路網の整備

新市の地勢は、東西に長く、南北に福岡都市圏や熊本都市圏等の大都市圏に近接しています。また、九州を縦横断する高速道路網のクロスポイントに近く、鹿児島本線、久大本線、西鉄天神大牟田線、西鉄甘木線等の公共交通網が形成されています。今後は、これらのポテンシャルを活かした、都市圏間の交流促進、都市骨格の形成、都市的サービス利用の拡大を図ることが求められています。そのためには、道路幹線軸の整備を図るとともに、それらの幹線軸と周囲の都市圏との円滑な交通アクセス環境の整備や、幹線軸間の環状線によるネットワーク化が必要となります。このために、新市のポテンシャルと筑後地域への波及効果を踏まえて、東西幹線軸の整備、南北幹線軸の整備、環状線の整備を視点に主要地方道などの整備を進めます。

東西幹線軸の整備

新市は、市域における東西の距離が32.15kmと長く、新市の東部地域と西部地域を結ぶ東西幹線軸の整備が重要であります。そのため、東西の円滑な交通アクセス整備充実のために主要地方道等の整備を計画的に進めます。

南北幹線軸の整備

新市は、筑後田園都市圏である150万人都市圏の中心部に位置しています。西北部に位置する鳥栖市・佐賀市など佐賀県東部地域との交流、北部地域に位置する福岡市等の福岡県北地域との交流、南部地域に位置する熊本地域との交流の促進により、新市が有する医療資源・教育資源の有効活用や、緑と自然豊かな魅力ある田園都市としての活用を図るために、アクセス機能を高める主要地方道等の整備を計画的に進めます。

環状線の整備

新市は、都心部を中心に国道が放射状に発達しているために、都心部の交通渋滞が発生しています。東西幹線軸と南北幹線軸を環状にネットワークすることにより、産業道路や生活道路等の道路機能の分担を図り、都心部の渋滞緩和により交通の円滑化を図ります。

(3) 戦略的成長産業の振興

福岡県においては、将来的に大きな成長が見込まれる新産業の育成を図るために、地域の特性・資源を活かした取り組みを進めているところです。特に、バイオテクノロジーを活用したバイオ産業は、21世紀の産業の中心を担うものであり、将来にわたって経済社会の持続的発展を図る基盤となるものです。新市は、久留米大学医学部、久留米工業高等専門学校、福岡県生物食品研究所、福岡県森林林業技術センター、(独)農業技術研究機構九州沖縄農業研究センターなどの高等教育機関や研究施設、高次医療機能を有する医療機関、豊富な農林業資源等が集積し、バイオ産業の育成にあたって多様な産業シーズが豊富な地域です。

これらの地域特性・資源を活かし、福岡バイオバレー構想の拠点地域として新市を対象に、都市エリア事業など産学官共同研究開発事業の推進、バイオインキュベーションセンターの建設など産業拠点の形成、久留米アジアバイオ特区構想などを進めてきたところですが、今後さらに、メディカルバイオからアグリバイオまで、幅広い分野にわたってのバイオ産業振興のための環境整備に取り組みます。